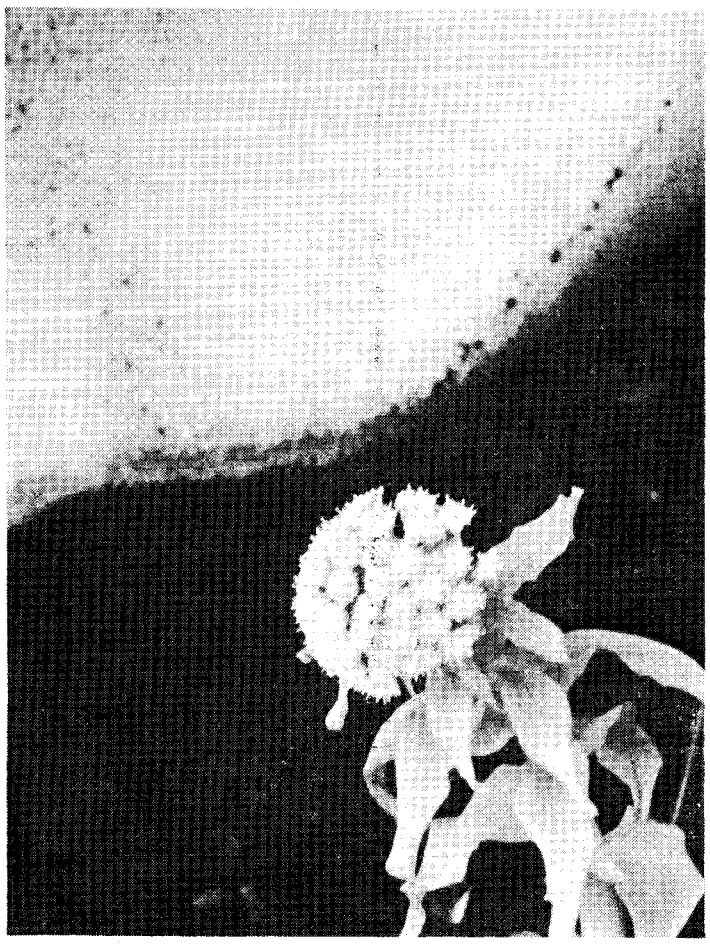
こすど公民館報
発行所　小須戸町 中央公民館
発行人　成田常信
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　㈲昭栄堂印刷所

子どもとテレビ

特集



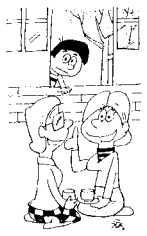
春近し　吉井久好

アニメは低学年に多く　男女で見る番組が違う

小須戸小学校児童二七三名（男子一三六名、女子一三七名）に、一番好きなテレビ番組を聞いたところ三十七番組も「アニメ」がありました。

男女の上位三位の番組を拾ってみると、男子はトップが「北斗の拳」と「キン肉マン」とで二分しており、ほとんど男子だけが見ている。女子は「少女に何が起ったか」と「あさりちゃん」とで二分し、これもほとんど女子だけが見ている。又「キン肉マン」及び「キャプテン翼」は低学年に多く「北斗の拳」は平均的に見られており、「少女に何が起ったか」は高学年で「あさりちゃん」は低学年が見ている。

上位三位以外の番組では男女平均して見ているものは、低学年では「パーマン」と「ドラエモン」高学年では、「スクールウォーズ」と「おれたちひょうきん族」があげられ、低学年では、もっぱら「アニメ」を見、高学年になるに従って見なくなっています。



家庭教育学級で　子どもとテレビを討議

一月の家庭教育学級で「子供とテレビ」と言うテーマで話し合われた。それぞれの家庭での実態について多くの意見が出され、色々な工夫も見られた。

Aさん「最近の子供達は、テレビを見始めると何時間でも見ているし、遊ぶ時も勉強する時もつけたままである。なにかよい方法はないかと考えた末、我家では子供達と相談して一週間のうち「テレビなし日」を二日間作った。何曜日にするかは子供達で決めた。今は火・木曜日にしている。始めの頃はその日をどう過ごしたらよいのか迷っていたらしいが、慣れてくると、本を読んだり、ゲームをしたりして結構楽しくやっている。母親である自分が勤めているため、帰宅後の夕食準備が大変なので、子供達にあれこれ云いつけるようにしている、夕食の時も主人がたいていい仕事で遅くなるため、先に食べるが、つとめてテレビを消し、幼稚園や学校での話しや、友達のことを話しながら食べている、つい話しがはずんで長くかかってしまうが、テレビに見入っているより良いと思っている」

Bさん「我が家では、テレビを〝消す〟事に重点をおいて努力してきました。つける事は簡単でも番組を見終ったらすぐ〝消す〟という動作が時からと思い、二才頃から番組を選び、見終ったら必ず〝消す〟という事に力を入れてきたかいあってか、今ではどうにか子供達には〝消す〟動き作が自然に身についてきました。一週間のテレビ番組の中でどうしても見たい番組だけを決めて見ようと話し合い、どうにか続いております。」

◎テレビを見ない日を作る。◎夕食にはテレビを消し話し合いの場を作る。◎番組を見終ったら必ず〝消す〟等色々な工夫が話されました。多くの家庭では、まだまだ放任状態にあります。

Cさん「テレビの無い時代、テレビのある家に見に行った記憶がある私ですが、今は生まれた時からすでに何かしらテレビによって育ってきました。テレビを見ながら子育てをする時代なので。親も子もすっかりテレビのある生活に慣れすぎてしまいました。

一人の時はさほどテレビに関しては気になりませんでしたが、三人の母親となった今、テレビが与える影響を考えなくてはと思いつつも何かと自分も一緒にテレビを見て過してきました。

色々な話し合いの中で大変学ぶべき点が多くありました。しかし共働きのため仕事から帰ると夕食の支度、洗たくと家事に追われて子供達の相手も思うようにならない今日、また子供同志で遊ぶには幼なすぎるので、まだまだテレビに頼らざるを得ないのが実状です。」

Dさん「テレビ局がふえてから見ようと思えばいつまでも見ていられる今日、私達大人も子供達もだらだら見ているのではなく、自分で本当に見たいものだけを選んで見るよう心がけ必要ない時は、スイッチを切り、ながら的習慣をやめ、集中力をもって遊んだり、勉強したりできる子供達に育てたいと願っています。」

子供達に節度のある見かたを望むなら、まず親自身のテレビの見かたを検討しなければならないと思いました。

「テレビを見ながら子育てを」と云われるようにテレビは色々な貴重なメディアを与えてくれます。又、子供の人間形成に貢献するものもあります。

あらためてテレビ番組を見ると役立つ番組が多いことに気づきます。又これが子供達に見せたい番組でもあるようです。

「テレビなし日に慣れてくると本を読んだりして結構楽しくやっている」というように、子供達が気晴らし、ストレス解消に、あるいは休息にテレビを見ているのではないだろうかとも思える。

「テレビを消しなさい。」と云うと多くの子供達は暇で何をしてよいかわからないと云う。テレビにかわるおもしろい遊びはないのか。

テレビがある室で生活している限り子供にとって環境の一部ですらある、テレビを〝消す〟に重点がおかれている家庭からは長い間テレビを見つめる子供が生まれる可能性は少ないだろうし、テレビのつけっ放しの家庭では、長時間テレビを見る子が育ってくるのではないだろうか。

資料
◎小須戸小学校（テレビアンケート）
◎家庭教育学級生
◎小学生子どもアンケート

テレビアンケート

"一番好きなテレビ番組は"

（小須戸小学校2年生，4年生，6年生）

男子が選んだ上位3つ　（136人調査）

順位	番組名	選んだ人数	比率
1	北斗の拳	29人	21.3%
2	キン肉マン	24人	17.6%
3	キャプテン翼	18人	13.2%

女子が選んだ上位3つ　（137人調査）

順位	番組名	選んだ人数	比率
1	少女に何が起ったか	25人	18.2%
2	あさりちゃん	22人	16.1%
3	スクールウオーズ	9人	6.6%

昭和60年2月調査

A君とテレビ

○A君、三年生、火曜日四時帰宅、玄関にカバンを置いて友達と遊びに行く。五時三〇分、あわただしく帰るなり、テレビをつける、「キャプテン翼」「忍者ハットリ君」「パーマン」「名探偵ホームズ」「夢戦士ウイングマン」と続き八時。

（週に一回だけ、テレビを見ながらの夕食がある）

日曜日朝一〇時「キン肉マン」が見たい、でも「サッカースポーツ少年団」の練習があって見られない。そこで登場するのが「ビデオ」である。子どもにとってテレビは切っても切り離すことができない。

子ども達に「学校が終ったあといつも何をして遊ぶの」と聞くと「テレビを見ている」時が一番多い。「どんな事している時が一番楽しいの」と聞くと「友達と遊んでいる時」が一番多い、次が「スポーツをしている時」であって「テレビを見ている時」と答えた子供は少なかった。

分館だより

◉水田老人クラブ
健康教室（第三回）
期日＝二月二十日（水）
時間＝午後一時三十分
会場＝水田集落センター
多数ご出席下さい。
健康手帳を忘れないようお願い致します。

◉横水分館
文化講演会のお知らせ
期日＝三月十日（日）
時間＝午後一時三十分
会場＝横川開発集落センター
講師＝新津南高校長
滝沢定春　殿
・越後国分寺問題・についてお話しをしていただきます。多数のご参集をお願い致します。

◉横川浜寿会定期総会
日時＝三月十七日（日）
午前九時三十分
場所＝横川浜集落開発センター
議案
イ　昭和五十九年度事業報告並びに決算報告
ロ　昭和六十年度事業計画案、予算案の審議
ハ　役員改選
終了後アトラクション
万障お差繰りの上ご出席願います。

性教育講演会　期日　3月9日（土）午後7時より9時まで　会場　小須戸町中央公民館
講師　松尾あさこ先生　主催　小須戸町在住高校生保護者協議会

寒夜に気合いと熱汗！
柔剣道寒稽古
母親剣士もがんばった

小須戸のママさん剣士

小須戸町柔剣道振興会恒例の寒稽古が今年も二月一日から十日までの十日間にわたり、剣道は中学校体育館、柔道は柔剣道場で、小中学生を中心に高校生・ママさん剣士を含め百七十余名の多数が参加し盛大に行われました。

幸い初日からの好天に恵まれ、落伍者や欠席者もほとんどなく連夜の稽古に励み、九日には昇級審査が行われ上達著しい人達はそれぞれめでたく進級が認定されました。最終日十日の納会では午前九時から柔道剣道とも中学校体育館で紅白試合が行われ、寒稽古で鍛えたうでまえを父母の前で披露しました。終わって中央公民館に会場を移し父母の会の心尽しのお汁粉に舌つずみをうち、一名の事故者もなく無事十日間の日程を終了いたしました。

特に本年は少年の頃町の武道館で柔剣道の手ほどきを受けその後も稽古を続け、それぞれ段位を進めた若手OB多数が立派な指導者に成長し、進んで寒稽古に参加、後輩幼少年の指導に当たって下さったことは何よりの喜びでした。今後の町の柔剣道発展に大きな期待がもたれます。それに昨年既に有段者を出したママさん剣士たちも後に続いて昇段審査に挑戦をめざしてそろって参加、親子で激しい稽古に快い汗を流しました。

また、山の手地区では暮れからの大雪対策としてチャーターして寒稽古参加者を送迎しましたので、往復の交通事故の懸念もなく稽古に集中できたことはたいへん有難いことでした。

終りに中学校当局、指導者各位、父母の会の皆様のご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

皆勤賞（一日も休まない）

剣道	九一名
柔道	一二名
計	一〇三名

〈新津警察署よりお知らせ〉
スリップ事故防止について

昨年末からの異常気象の影響により、県内でスリップによる交通事故が続発しております。今後も降雪、路面凍結の影響によるスリップ事故防止を呼びかけております。

ドライバーは特に次の点に注意し、事故防止にご協力下さい。

一、スパイクタイヤを過信せず、安全五則を守ること。

二、路面に雪がなくとも「冬道」という認識を忘れずに。特に早朝、夜間の濡れた路面は要注意。

三　雪道にはブレーキを連続して踏むポンピングブレーキを用いるようにすること。

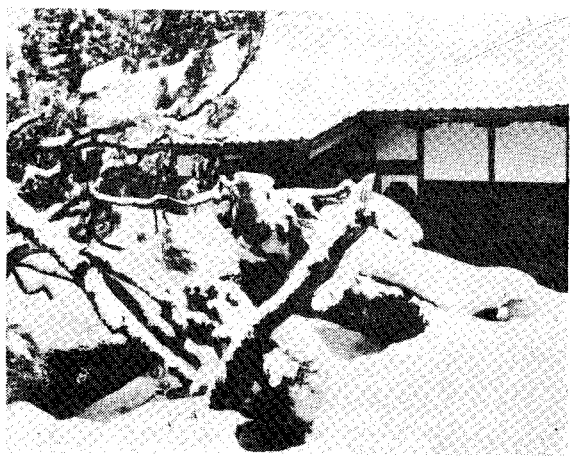
四、圧雪状況では車が思わぬ方向に進む場合があるので対向車の動きに注意すること。

五、冬道は道幅がせまくなっているので、歩行者や相手の運転手の立場に立った思いやりのある運転を心がけること。

無惨、根元から折れる
感応寺の老松

天ケ沢の高台に位置する感応寺。その寺には樹齢三百年は下らないという老松が、町内外において非常に有名です。

昨年十二月二十八日の降雪の夜に松が倒れたのだと住職の広瀬さんが残念そうに話してくれました。



その日、住職の広瀬さんは出張中、妻の春美さんは子供達の世話で気がつかず次の日、奥さんが雪のけをしようとして本堂から出ようとした時、「本堂の前にあるはずの松がない」「あまりの驚きに声も出なかった」とあぜんとしたそうです。

住職の広瀬さんは、「以前にこの松の下葉が枯れて、松くい虫かと心配しましたが、調査の結果弱っていただけという報告でした。そんなことなどからすでに、このぐらいの雪で倒れるのは松の寿命だろうと思っています。」

「非常に残念なのですが、不幸中の幸いというか、本堂側あるいはお墓の方向に松が倒れなかったこと、そしてお客様などに事故がなかったことなど、実害のなかったことが幸いでした。」

雪が解けて、無惨な松の姿を見るのは非常にさびしい思いをするだろうと、感応寺のシンボルマークの倒木に胸を傷めておられました。

一月十五日号の〝海外たすけあい〟の記事の中で誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

誤　金八六二円
正　金八、六一一円

中学生文芸
―俳句クラブ作品―

昨日より長く太った大氷柱　木村　秀子
地震かな除雪車通り家揺れる　保科あゆみ
冬の月夕焼け空と共にあり　高橋　淳子
除雪後道路狭しとゆずり合い　渡辺　弘美
屋根の上雪卸しするお父さん　五十嵐理香
ブシュブシュと消雪パイプの水はねる　相馬　聡子
どか雪を落としてはまた雪払い　渡部　雪子
雪卸し家の中にも音響く　泉田しのぶ
暗き夜道々光る雪明かり　青木　梢
小さな手氷柱取ろうと手を伸ばす　川瀬　直美
午前五時除雪車の音近づけり　高橋千恵子
幼な子の氷柱めがけて雪を投げ　白井留美子
朝日浴び軒の氷柱の光りおり　高橋　綾子
雪道を意地でも通るダンプカー　玉村　佳苗
ドカ雪で母屋もすっぽりかくれおり　保科寿美子
通学路消雪パイプの水を除け　西村久美子
どか雪の卸す間もなくまた積る　田代　美加
道路わきドカ雪積まれ幅狭し　保科あゆみ
自動車にのれんのような氷柱つく　泉田しのぶ

一月句会報
小須戸町俳句同好会

浮子点々夫婦張りおり鮭の網　太浪
初雪のやさしく笹の上にあり　素糸
只今が雪払いつつ遅れけり　野蒜
勤め果て冬の羽織の人となる　紀男
鰤起し沖向き夜の石仏　越楼
いくつかの訃に年賀書く手のにぶる　ミナ
小春日や病舎の外の工事音　冨沙子
つぶらな瞳サンタの来るを信じる児　久子
首の骨こきと鳴らして炬燵出る　露春
托鉢の留守屋山茶花咲きあふれ　良遊
鐘楼の東西南北掛大根　可津朋
短日の厨より先ず灯りけり　虚秋
大根干す村の隅まで陽がありぬ　秀穂
工事場の人そろうまで大焚火　香月
ゴム風船コロコロまろぶ隙間風　松山
雪払ふ音して人の尋ね来る　芳人

短歌

きしきしと粉雪を踏む音寂し大寒に入る路地の暗やみ　我妻清作
冬の日すい蓮のくろき根かぶに春を待つけはいのありて池静まりぬ　伊藤照渓

催しもの ご案内

60年度講座 教室開催のお知らせ

日本の古典文学を学びましょう
～第二期生募集～

中央公民館では、古典講座を開催し一年が経過しました。好評により昭和六十年度も開催いたしますので、多数参加して下さい。

期日＝四月より毎月第一第三水曜日午前十時より十二時まで
期間＝四月より一年間
会場＝中央公民館二階会議室
参加費＝一、〇〇〇円
その他テキスト代は実費となります。
定員＝二十名
なお、定員になり次第〆切らせていただきます。
主催＝中央公民館

古文書講座第二期生募集

古文書の難解な文字は容易には読むことができません。そこでぜひ古文書を読む力を身につけたい方は次により多数参加して下さい。

期日＝四月より毎月第一第三月曜日午前十時より十二時まで。
期間＝四月より一年間
会場＝中央公民館二階会議室
参加費＝一、〇〇〇円
その他テキスト代は実費となります。
定員＝二十名
なお、定員になり次第〆切らせていただきます。
主催＝中央公民館

※　※　※

川柳教室開催
（誰でも出来る川柳の作り方）

川柳（江戸時代の中期に前句付けから独立したこっけい、皮肉などを主とする、五・七・五音の短詩。）教室を開催いたします。興味のある方はぜひこの機会にご参加下さい。

期日＝四月より毎月第一、第三金曜日午後七時三十分～九時まで
期間＝四月より一年間
会場＝中央公民館二階学習室
内容＝誰でも出来る川柳の作り方
講師＝新潟川柳文芸社同人　夏井たつや氏
主催＝中央公民館

以上の講座・教室の希望者は次により申し込んで下さい。

申込先＝小須戸町中央公民館へ電話で（電話二二三四番）申し込み下さい。
〆切＝三月十五日午後五時まで

文化講演会開催

小須戸町の文化・芸術の発展と豊かな人生くらしを見つめると題しまして次により文化講演会を開催いたします。近隣・友人お誘い合わせ、お出かけ下さるようお待ち申し上げております。

期日＝昭和六十年三月十七日（日）午後一時三十分～三時三十分
会場＝小須戸町中央公民館三階ホール
講演＝「良寛の書」について
講師＝渡辺秀英先生
主催＝教育委員会
主管＝中央公民館文化協会
その他＝詳しくは中央公民館までお尋ね下さい。

第二回婦人研修会開催

小須戸町の婦人団体及び婦人グループの参加による研修会を次により開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記念講演＝「青少年の非行問題と健全育成」
講師＝新潟少年学院　平山　正徳
期日＝昭和六十年三月三日（日）午後一時より四時まで
会場＝小須戸町中央公民館三階ホール
主催＝小須戸町中央公民館

カラオケ大会出場者募集

期日＝四月六日（土）午後七時より
会場＝中央公民館三階ホール
申込＝先着十名まで。曲目と住所・氏名を公民館まで
※とび入りカラオケ大会を行います。
※優勝者には、優勝曲をレコードプレスして差し上げます。
主催＝KRC

将棋名人戦開催

日時＝二月二十四日（日）午前八時三十分受付
会場＝中央公民館二階会議室
参加費＝一、〇〇〇円（中食・その他）
参加申込＝二月二十二日まで中央公民館へ
主催＝小須戸町将棋愛好会

寄贈御礼

「奴奈川文化叢書②」
神遊びの里
著者　土田　孝雄
第一集作品「翠の古代史」につづいて第二集を寄贈いただきましてありがとうございました。
（土田孝雄・小須戸中第五回卒業、現糸魚川商高教諭）